

PRICE GUIDE

MVP開発 費用早見表

手法別・業種別・依頼先別の相場と、早見表＋計算式による概算シミュレーション（2026年7月時点の調査に基づく）

Scoop MVP Media | 合同会社Scoop

1. MVP開発の費用相場サマリー | 中心レンジは10万～800万円

まず結論から。MVP開発の費用は**10万～800万円が中心レンジ**で、以下の条件で決まります。大規模案件や規制業種では1,500万円を超えることもあります（詳細は3章）。

規模	期間	費用相場	該当ケース
超小規模	2週間	10～50万円	LP・単機能アプリ
小規模	1ヶ月	50～200万円	5機能以下のノーコードMVP
中規模	2ヶ月	200～500万円	10機能程度のフルスタックMVP
大規模	3ヶ月	500～1,500万円	独自ロジック含むスクラッチMVP

※フィンテック・医療など規制対応が必要な業種の複雑案件では2,000万円超のケースもあります（→3章のマトリクス参照）。

MVP開発の費用相場 | 規模別レンジ

中心レンジは10万～800万円

超小規模

LP・単機能アプリ / 2週間

10～50万円

小規模

5機能以下のノーコードMVP / 1ヶ月

50～200万円

中規模

10機能程度のフルスタックMVP / 2ヶ月

200～500万円

大規模

独自ロジック含むスクラッチMVP / 3ヶ月

500～1,500万円

10万

50万

100万

500万

1,500万

3,000万

※対数スケール表示。フィンテック・医療など規制業種の複雑案件では**2,000万円**超のケースもあります（2026年7月時点の相場観）。

scoop.llc/mvp-media

1-1. なぜ10倍以上の幅があるのか

費用が10倍以上変動する理由は**5要素の掛け算**によります：

- 開発手法（ノーコード vs スクラッチ）：3～5倍差
- 機能数（5機能 vs 20機能）：2～3倍差

3. **依頼先**（フリーランス vs 大手SI）：3～10倍差

4. **業種**（一般業種 vs 医療/金融）：1.5～3倍差

5. **契約形態**（請負 vs 準委任）：1～1.5倍差

これらが掛け合わされるため、**同じMVPでも10倍の費用差**が発生します。

2. 開発手法別の費用相場

最も費用に影響するのが**開発手法の選択**です。5パターンの費用相場を一覧化しました。

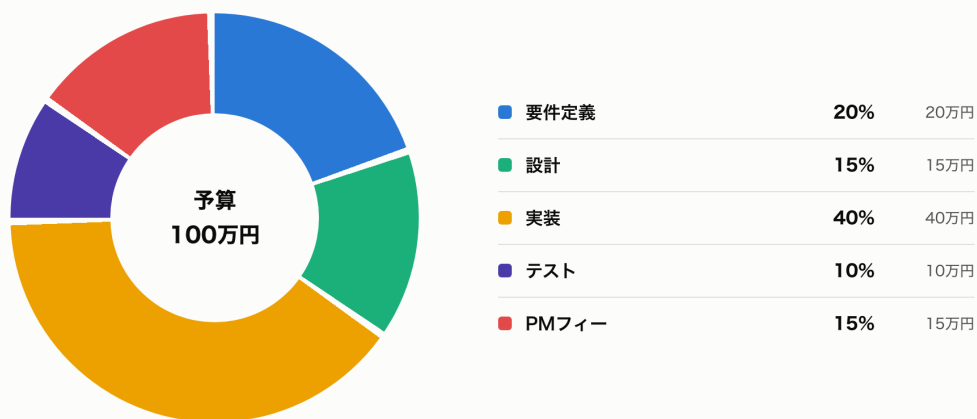
開発手法	期間	費用相場	主な用途
ノーコード	2週間～1ヶ月	10～150万円	仮説検証最優先、シンプルな機能
ローコード	1～2ヶ月	100～300万円	業務系・管理画面
AIコーディング併用	2週間～1ヶ月	50～200万円	独自ロジックあり・期間短縮
フルスクラッチ	2～4ヶ月	200～800万円	独自技術・規制対応・大規模
オフショア	1～3ヶ月	80～400万円	コスト最優先

2-1. 費用の内訳例（100万円ケース）

参考として、100万円の予算を組む場合の内訳目安：

- 要件定義: 20万円（20%）
- 設計: 15万円（15%）
- 実装: 40万円（40%）
- テスト: 10万円（10%）
- PMフィー: 15万円（15%）

MVP開発費用の内訳 | 予算100万円の場合



scoop.llc/mvp-media

2-2. 費用にまつわる各手法の注意点

- ノーコード:** 開発費とは別に月額ツール利用料が発生します。Bubbleの場合、有料プランはStarter \$29/月～Team \$349/月（年払い・Webアプリの場合。月払いはStarter \$32～Team \$399。モバイルアプリ対応込みのプランは\$59/月～）。ユーザー急増時にはワークロード課金の追加コストも見込む必要があります（2026年7月時点、出典: [Bubble公式料金ページ](#)）

- **AIコーディング併用:** GitHubが95名の開発者を対象に行った比較実験では、GitHub Copilotを使用した群はタスク（JavaScriptでのHTTPサーバー実装）の完了が**約55%高速**でした（使用群は平均1時間11分、非使用群は平均2時間41分で完了。出典: [GitHub公式ブログの調査記事](#)）。シードフェーズでの当社推奨は「ノーコード×AIコーディング」ハイブリッド
- **フルスクラッチ:** 500万円案件の内訳目安は、要件60万/設計80万/実装250万/テスト50万/PMフィー60万
- **オフショア:** 日本語対応PMの人件費を必ず含む

💡 各開発手法の詳細な選び方（メリット・デメリット・向き不向き）は、[ノーコードでMVP開発する方法](#) と AIコーディング時代のMVP開発 で解説しています。本記事では**費用の観点**に絞って比較します。

2-3. 公開事例 | 従来開発で6ヶ月難航→ノーコードで6週間でMVPリリース（米Dividend Finance）

開発手法の選択で期間・費用がどれだけ変わるかを示す公開事例を紹介します。

💬 米国の再生可能エネルギー融資会社**Dividend Finance**は、創業期の2014年、従来型の開発チームで自社プラットフォームの構築を進めたものの、**6ヶ月を費やして予算の大半を消化してもリリース可能なプロダクトが完成しませんでした**。その後、ノーコード開発会社Airdevに切り替え、Bubbleを使って**わずか6週間でMVPをリリース**。このMVPを起点に機能拡張を重ね、現在では数十億ドル規模の融資取扱高を処理するプラットフォームに成長しています（出典: [Airdev公式ケーススタディ](#)）。

従来開発で6ヶ月かけて完成しなかったものが、手法を変えたら6週間でリリースできた——開発費は人月の積み上げで決まるため、この期間差はそのまま費用差に直結します。フィンテックのような規制業種でも、MVP段階ではノーコード・ハイブリッドが有力な選択肢になる好例です。

3. 業種×手法別の費用相場マトリクス

タイトルどおりの「業種×手法」のクロス表がこちらです。主要機能5～10個・決済/管理画面ありの標準スコープを、各手法で開発した場合の概算レンジです（公開されている各社の料金情報と代表の経験に基づく参考値です）。

3-1. 業種×手法別クロスマトリクス（概算）

業種\手法	ノーコード	AIコーディング併用	フルスクラッチ
SaaS	30～120万円	80～200万円	300～800万円
マッチング	50～150万円	100～200万円	400～1,000万円※1
EC	20～100万円	60～150万円	250～600万円
予約システム	30～100万円	60～150万円	250～600万円
フィンテック	150万円～※2	200～500万円	600～1,500万円※1

- ※1 リアルタイム通信・規制対応などを含む場合、手法別の一般レンジ（スクラッチ200～800万円）の上限を超えます。
- ※2 フィンテックのノーコード開発はKYC・セキュリティ等の規制要件が軽い場合に限定されます。要件次第ではノーコード単体は非推奨です。
- 本クロス表は「同スコープを手法別に作った場合」の概算です。次の3-2の詳細表は「機能規模別の実績レンジ」のため、区別の意味が異なります。

業種 × 開発手法別の費用相場マトリクス

業種\手法	ノーコード	AIコーディング併用	フルスクラッチ
SaaS	30～120万円	80～200万円	300～800万円
マッチング	50～150万円	100～200万円	400～1,000万円
EC	20～100万円	60～150万円	250～600万円
予約システム	30～100万円	60～150万円	250～600万円
フィンテック	150万円～※	200～500万円	600～1,500万円

費用の目安: 低い    高い

※フィンテックのノーコードは規制要件が軽い場合に限定。主要機能5～10個・決済/管理画面ありの標準スコープの概算（2026年7月時点）。

scoop.llc/mvp-media

3-2. 業種×機能規模別の詳細テーブル（10業種）

同じ業種でも、機能規模によって費用は変わります。以下は公開情報と代表の経験に基づく相場観です。

業種	機能最小（～5機能）	標準（6～10機能）	複雑（11機能～）
SaaS	30～80万円	150～400万円	500～1,000万円
マッチングアプリ	50～120万円	200～500万円	600～1,500万円
ECサイト	20～60万円	100～300万円	400～800万円
予約システム	30～80万円	120～300万円	400～800万円
SNSアプリ	50～150万円	200～500万円	700～1,500万円
ヘルスケア/医療	100～300万円	400～800万円	1,000万円～
フィンテック	150～500万円	600～1,500万円	2,000万円～
HRTech	50～150万円	200～500万円	700～1,500万円
業務効率化	20～80万円	100～300万円	400～800万円
EdTech	50～150万円	200～500万円	600～1,500万円

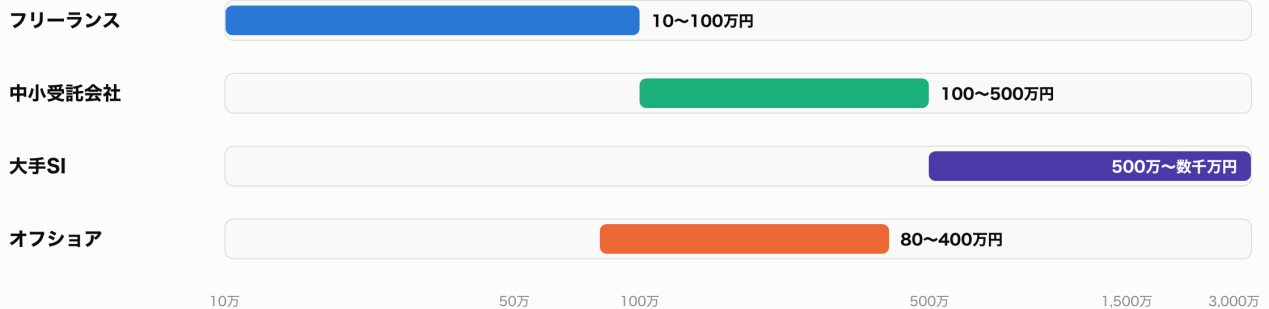
3-3. 業種別の費用が上下する主な理由

- **ヘルスケア/フィンテック**が高いのは、**規制対応**（薬機法、資金決済法など）で追加工数が発生するため
- **ECサイト**が低いのは、Shopify、BASE等の既存基盤で機能の大部分が代替できるため
- **マッチング/SNS**は、アルゴリズムやリアルタイム通信の実装で工数増

 このマトリクスを手元に置いて相見積もりに使いたい方へ 業種×手法別の費用早見表PDF（無料）をダウンロードできます。相見積もりの比較シートとしてそのまま使えます。 → </mvp-media/download/cost-sheet/>

4. 依頼先別の費用相場

依頼先別のMVP開発費用レンジ



MVPフェーズの主戦場は中小受託会社（100~500万円）。オフショアは日本語対応PMの人件費を含めて比較を。

scoop.llc/mvp-media

4-1. フリーランス：10~100万円

- ・ **メリット:** 低コスト、コミュニケーション直接
- ・ **デメリット:** 属人性リスク、体調不良で停止、契約管理煩雑
- ・ **推奨ケース:** 予算50万円以下、要件が明確

4-2. 中小受託会社（社員10-50名規模）：100~500万円

- ・ **メリット:** 柔軟性、コスト対効果、担当PMとの距離が近い
- ・ **デメリット:** リソース制約、スケール時の増員に限界
- ・ **推奨ケース:** 予算100~500万円、MVPの主戦場

4-3. 大手SI・システムインテグレータ：500万~数千万円

- ・ **メリット:** 品質保証、大規模プロジェクトのノウハウ
- ・ **デメリット:** 意思決定が遅い、費用が高い、MVP的な小回りは苦手
- ・ **推奨ケース:** 大企業の新規事業、規制対応が必要

4-4. オフショア：80~400万円

- ・ **メリット:** 国内比40~60%削減
- ・ **デメリット:** 日本語対応PMが必須、時差リスク
- ・ **推奨ケース:** 明確な仕様書、コスト最優先

💡 依頼先候補の具体的な会社リストと選び方は [MVP開発会社おすすめ20選](#) を参照してください。

6. ランニングコスト | 初期費用だけでは終わらない

MVPは「作って終わり」ではありません。初期費用（開発費）とは別に、公開後は月額のランニングコストが発生します。予算計画は「初期費用+12ヶ月分の運用費」で立てるのが安全です。

費目	ノーコードMVP	スクラッチMVP
ツール/インフラ 利用料	Bubble等のプラン料金 \$29〜399/月+従量課金 (2026年7月時点)	クラウド費用（AWS等）月1〜10 万円目安
保守運用費	0〜10万円/月（自社運用も可能）	開発費の10-15%/月（公開後3ヶ 月は契約推奨）
外部サービス手 数料	決済手数料（Stripe等は決済額の数%）、メール配信・ 通知サービスの従量課金	同左

総所有コスト（TCO）の計算例: 初期費用180万円のノーコードMVPで、月額運用費が5万円の場合、初年度TCOは 180万円 + 5万円×12ヶ月 = **240万円**。見積もり比較は初期費用だけでなく、この初年度TCOベースで行うのがおすすめです。

初期費用だけでは終わらない | ランニングコストの構成

初年度TCO（総所有コスト）の例: **240万円** = 初期費用180万円 + 月額運用費5万円 × 12ヶ月

初期費用（開発費） 180万円	運用費 60万円（5万円×12ヶ月）
-----------------	--------------------

開発・リリースまで

公開後12ヶ月

 **ノーコードMVPの月額費用**

- ・ ツール利用料: \$29〜399/月 + 従量課金
- ・ 保守運用: 0〜10万円/月（自社運用も可）
- ・ 決済・メール等の従量手数料

 **スクラッチMVPの月額費用**

- ・ クラウド費用: 月1〜10万円目安
- ・ 保守運用: 開発費の10〜15%/月
- ・ 決済・メール等の従量手数料

8. 【シミュレーション】早見表＋簡易計算式で概算を出す

このセクションの早見表と計算式で、**自社ケースの概算費用をその場で試算**できます。

8-1. 費用早見表（基本料金＋加算方式）

簡易計算式:

概算費用 = 基本料金（手法別） + 機能加算 × 機能数 + 決済オプション + 管理画面オプション

項目	ノーコード	AIコーディング併用	フルスクラッチ
基本料金（認証・基本UI含む）	30万円	60万円	150万円
機能加算（1機能あたり）	5万円	10万円	25万円
決済機能オプション	10万円	15万円	40万円
管理画面オプション	10万円	20万円	50万円

- ※公開情報と代表の経験に基づく概算の参考値です。正式見積りに代わるものではありません。
- ※フィンテック・医療など規制業種は、規制対応工数により上記の**1.5～3倍**を見込んでください（1-1の業種係数）。

8-2. 計算例 | 3業種でやってみる

例1: SaaS（AIコーディング併用・主要8機能・決済あり・管理画面あり）

60万円 + 10万円×8 + 15万円 + 20万円 = **概算175万円**（3-1のクロス表「SaaS×AI併用: 80～200万円」のレンジ内）

例2: マッチング（ノーコード・主要7機能・決済あり・管理画面あり）

30万円 + 5万円×7 + 10万円 + 10万円 = **概算85万円**（クロス表「マッチング×ノーコード: 50～150万円」のレンジ内）

例3: 予約システム（ノーコード・主要5機能・決済あり・管理画面なし）

30万円 + 5万円×5 + 10万円 = **概算65万円**（クロス表「予約×ノーコード: 30～100万円」のレンジ内）

8-3. 診断フォーム版（実装予定）

以下の質問に答えると概算費用と期間目安を即時表示する診断フォームを、**Typeform/Tallyで実装予定**です（公開までは8-1の早見表をご利用ください）。

- Q1: 業種（SaaS / マッチング / EC / 予約 / SNS / ヘルスケア / フィンテック / HRTech / 業務効率化 / EdTech）

- Q2: 主要機能数（5個 / 10個 / 15個 / 20個以上）
- Q3: 認証方式（メール / SNS連携 / エンタープライズSSO）
- Q4: 決済機能の有無
- Q5: 管理画面の有無
- Q6: 目標期間（2週間 / 1ヶ月 / 3ヶ月 / それ以上）
- Q7: 開発手法（ノーコード / スクラッチ / お任せ）
- Q8: 想定ユーザー数（～1,000 / ～1万 / ～10万 / それ以上）
- Q9: メールアドレス（詳細見積もり送付用）

→ 概算費用と期間を即時表示、詳細見積もりは3営業日以内にメール送付。 → 費用シミュレータ（公開準備中。8章の早見表で概算いただけます）

概算の妥当性を確認したい方へ

お手元の見積もりが相場と合っているか、無料でレビューします。

▶ **無料相談:** <https://scoop.llc/mvp-media/consultation/>

他の無料ダウンロード資料 (<https://scoop.llc/mvp-media/download/>) :

- MVP開発 5ステップワークシート
- MVP開発会社 17項目チェックリスト
- MVP開発 費用早見表
- ノーコードツール比較表
- MVP開発 成功事例集30選

© 2026 合同会社Scoop All Rights Reserved. | 本資料の無断転載・再配布はご遠慮ください。

出典・最新情報: <https://scoop.llc/mvp-media/>